

一般質問が熱い！

観光課、日本遺産・歴まち推進室の旭町移転

この移転については、直前にあつた5月の議会議員全員協議会においても、この6月定例会においても説明されていません。また、移転経費に係る補正予算も提案されないまま移転が行われました。

このことについては、複数の議員が一般質問にも取り上げ、執行部に説明を求めました。移転の目



観光課、日本遺産・歴まち推進室が移転した事務所

的、移転に至った経緯、それに関する移転経費、そして将来的な運営経費等様々な切り口で質問がなされました。冷静だけでなく、時として熱のこもった質問と答弁のやり取りは、正に議会基本条例の目的である議会の活動の原則に合致したことです。

「議会は、市民に対し積極的にその有する情報を発信し、説明責任を果たすものとする」とされています。だからこそ、しっかりと議論し、分かりやすく説明できるように、なぜ、どうしてをそのままにはしておけません。

より一層の市政の見える化を

議員の中に、執行部に対して事前説明が足りない、丁寧な提案が無い、議会軽視ではという声があります。前述したことだけでなく、最近の議題では旧「朝霧温泉ゆ・ら・ら」や消防署移転、高梁国際ホテルの改修などについても同様です。



高梁国際ホテル

6月定例会においては、新型コロナウイルス感染症対策ということ、各質問者の一般質問の発言時間を通常より約10分短縮して30分で行われましたが、各議員が様々な政策課題について質問を行いました。また、高梁市議会では会派が2つとなり、今までは行われていない会派代表質問の実施も現在検討されているところです。

『市民の負託に応え、豊かな高梁市の実現に寄与する』

(高梁市議会基本条例第1条より)

高梁市議会基本条例

第2条 議会は、市民を代表する議決機関であることを常に自覚し、公正性及び透明性を重視して、市長等執行機関の市政運営状況を監視するものとする。

議会議員全員協議会が開催されました

令和3年5月28日に都市計画道路南町近似線及び下町薬師院線と旧高梁市健康増進施設「朝霧温泉ゆ・ら・ら」施設売却について、執行部説明があり、その後に質疑がありました。ここではその概要と主な質疑を紹介します。

都市計画道路の整備

都市計画道路南町近似線及び下町薬師院線は、市街地の形成機能の向上や市内環状化を図るため、昭和44年に都市計画決定されましたが、JR伯備線高梁西踏切の立体交差方式が整備上の課題となっていました。JR西日本との協議で、平面交差方式に変更することとなり、令和2年度に道路幅員や道路線形を見直すための基本設計を行い、都市計画決定の変更案を取りまとめているとの説明がありました。

これに対して議員からは、事業費・事業年度、無電柱化、平面交差にした理由について、計画が変更になるに伴う周辺住民への説明についてなど、多くの質問がありました。

これらの質問に対しては、事業費は推計15億円、令和12年度末完成を見込んでいること、地中化の予定は無いこと、平面交差の方が災害時の避難路として安全であったり、用地が7割程度、補償物件が6割程度少なくなり、通行止めも大幅に短縮でき、事業費を約半分に削減できるとの説明がありました。周辺の住民、特に今回計画の変更で影響が及ぶ住民に対しては、丁寧な説明をするとのことでした。

旧「朝霧温泉ゆ・ら・ら」売却に

1億1348万9900円
市民の関心度も高いこの施設の売却に関して、株式会社エヌデイエスが再び優先交渉権者になったとの報告がありました。

同社が提案する施設の活用方法は、老朽化した温浴施設部分を木質バイオマス発電施設として稼働、地元の野菜や果物、特産品を販売する山の駅、また地元食材を使用して、観光やスポーツで高梁市を訪れる人々の飲食を提供するレストランを営業、雇用創出の面なども選定に値するとの説明がありました。

議員からは、周辺住民、周辺施設への配慮を危惧する意見、環境汚染を心配する意見、前回の募集要項を何故変更したのか、周辺施設の管理はどうなるのかなどの質問がありました。

質問に対して、立地協定を定める中で、地域住民や環境に配慮した話し合いを進めていく、土地を売却し、経営の自身に対しては関与しないが、買い戻し特約の10年間で担保になる。周辺施設の管理については提案を頂いているので前向きに検討するとの答弁がありました。

ちなみに、6月定例会では、複数の議員から旧「朝霧温泉ゆ・ら・ら」施設売却について質問がありました。一般質問の答弁でも「売却に係る事業としては最後のチャンスだと思っている。」この言葉どおり、紆余曲折を経て、五里霧中ともいえる状態であったこの施設ですが、国の進める持続可能な開発目標SDGsの流れにのって、地域経済の活性化に貢献してもらいたいと思っています。



旧高梁市健康増進施設「朝霧温泉ゆ・ら・ら」